

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 112

2017年4月18日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、農学部の大西利幸先生です。

◆◆ CONTENTS ◆◆

1. 「平成29年度地域産学バリュープログラム※公募説明会・相談会」のご案内
2. 「静岡ものづくり未来応援団 講演会/交流会/製品展示会」のご案内
3. 「静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター
第10回 研究・開発成果発表会」のご案内
4. 「BIO tech 2017 アカデミック フォーラム」に出展します

1. 「平成29年度地域産学バリュープログラム※公募説明会・相談会」のご案内

現在、JSTが公募をしております、「平成29年度地域産学バリュープログラム※」につきまして、以下の通りJSTの担当者をお招きして公募説明会・相談会を開催することになりましたのでご案内と情報提供をさせていただきます。
ご興味・ご関心のある場合には是非ご出席ください。
また、所内展開をお願いできましたら幸いです。
(※旧マッチングプランナープログラム)

【日時】2017年4月26日(水) 14時～17時

【場所】S-Port 3階 大会議室

http://www.shizuoka.ac.jp/access/map_hamamatsu.html

□■プログラム■□

- ・地域産学バリュープログラム公募要領の説明 45分
- ・質疑応答 15分
- ・個別相談 1件20分(個別相談は各会場先着6名まで)
(プログラム内容は各会場共通)

国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) HP

【地域産学バリュープログラム】

<http://www.jst.go.jp/mp/koubo.html>

- ご参加をご希望される場合は下記の申込先に、
①ご所属、②お名前、③個別相談の希望有無、④ご連絡先
(電話番号、メールアドレス)をご連絡ください。

【申込・問合せ先】：静岡大学イノベーション社会連携推進機構
E-mail : tane8p[at]cjr.shizuoka.ac.jp
TEL : 053-478-1718

2. 「静岡ものづくり未来応援団 講演会/交流会/製品展示会」のご案内

「静岡ものづくり未来応援団」の総会に引き続き、記念講演会/製品展示会/交流会を実施いたします。
皆さま方の製品や技術、様々な試みを展示いただき、参加者の方にご紹介する機会としたいと思います。
是非、貴社の自慢をご展示賜りますよう、よろしく申し上げます。

【日時】2017年4月27日(木) 13:30~18:00
【会場】ツインメッセ静岡 (静岡市駿河区曲金3-1-10)
◇総会・講演会 北館4階レセプションホール
◇展示会・交流会 北館3階小展示場

□■プログラム■□

13:30~14:00 静岡ものづくり未来応援団 総会
14:00~15:00 記念講演会
株式会社リバネス 代表取締役CEO 丸 幸宏 様
15:00~16:30 企業事例紹介(予定)
株式会社エステック・先生精機株式会社
15:00~18:00 製品展示会/情報交換会(交流会)

【申込先】下記をご記載の上、FAXまたはE-mailにてお申込みください。
ご出展をご希望いただく場合は、展示内容をご記入ください。

会社名・団体名/ご出席者名/ご連絡先(tel・E-mail)/ご同伴者
総会陪席の有無/交流会参加の有無
※展示をご希望の場合は、展示内容を記載
(基本ブース：長机、椅子4脚、背面パーテーション+社名板)

【主催】「静岡ものづくり未来応援団」、静岡新聞社・静岡放送

【問合せ先】「静岡ものづくり未来応援団」事務局 静岡新聞社・静岡放送
営業局企画推進部 担当：三須、畠山
TEL:054-281-9009
FAX:054-284-9031
E-mail:info[at]shizutech.com

3. 「静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター
第10回 研究・開発成果発表会」のご案内

地域産業の振興と活性化に向けた県西部地域における幅広いネットワークの形成と活発な交流・連携による研究開発及び製品化・実用化の促進支援を目的に、静岡県と県西部地域の大学及び産業支援機関との共催・後援による研究・開発成果発表会を、下記のとおり開催します。

【日 時】 2017年6月9日（金）13：00～17：00（終了予定）
【会 場】 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター
（浜松市北区新都田1-3-3）

□■プログラム■□

【特別講演】

13：05～14：05 「競争優位を生み出す人工知能の技術と応用
～富士通研究所における人工知能研究の取り組み～」
講師：(株)富士通研究所 人工知能研究所 シニアディレクター 渡部 勇
氏

【研究・開発成果発表】

14：10～ レーザー・光、電波識別、半熔融成形、難加工材、電鑄、
繊維複合材料等（センターの技術分野）、
各大学における最近の研究成果（共催する4大学による）

【ポスター展示及びポスターセッション】

ポスター展示 [13：00～]

ポスターセッション [研究・開発成果発表終了後40分から1時間程度]

：研究・開発成果に係るポスター及び共催・後援各機関における企業支援策等の出展

【主 催】 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター

【共 催】 静岡大学、静岡理工科大学、静岡文化芸術大学、光産業創成大学院大学、
浜松地域産業支援ネットワーク会議

【後 援】 中小企業基盤整備機構関東本部

【参加費】 無 料

【問合先・申込先】 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター
（〒431-2103 浜松市北区新都田一丁目3-3）
技術支援担当：山下
TEL：053-428-4152 FAX：053-428-4160
E-mail：hamamatsu[at]iri.pref.shizuoka.jp

4. 「BIO tech 2017 アカデミック フォーラム」に出展します

アカデミックフォーラムに静大教員3名が出展します。
アカデミック フォーラム（創薬・医療・バイオ 研究発表大会）は、大学・国公立
研究所の研究者が、口頭発表やポスター展示を通して、バイオ研究の成果発表を
行う場です。

来場者と発表者の間で、共同研究・技術移転・ライセンスに関する打ち合わせ
が多数行われるなど、大学－企業間を中心とした実質的な産学連携・パートナーリング
案件が多数生まれています。
ぜひご来場ください。

【日 時】2017年6月28日（水） ～ 6月30日（金）
【場 所】東京ビッグサイト

【静岡大学の出展・発表内容】

大学院 総合科学技術研究科 農学専攻 准教授 与語 圭一郎
発表タイトル：雄の生殖能に重要なSLCトランスポーターの同定

大学院 総合科学技術研究科 工学専攻 准教授 鳴海 哲夫
発表タイトル：キノリニウム型光感受性保護基の創製とケージド神経伝達物
質への応用

大学院 総合科学技術研究科 情報学専攻 准教授 荒木 由布子
発表タイトル：MRIデータに基づくアルツハイマー病早期発見のための統計的
モデリング

【詳 細】<http://www.bio-t.jp/Academia/About/>
【問合先】静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL：053-478-1702
FAX：053-478-1711

《 みんなのコラム -106- 》

記：農学部 応用生物化学系列 大西利幸

2009年に静岡大学に赴任して以来、「植物が作り出す“香り”や“味”がどのように
生み出される（生合成）されるのか？」について研究を行っています。野菜や果樹など
の農産物が作り出す“香り”（香気成分）や“味”（アミノ酸、糖、二次代謝産物）は
、食品としての植物の品質要因になるだけでなく、植物自身が身を守るための防御物質
（ストレス耐性物質）です。そのため、“香り”や“味”を研究することは、植物の高品
質化に繋がるだけでなく、植物にストレス耐性を付与することも将来的には可能になる
と考えています。ただ、これらの研究成果は、産業界に大きなインパクトを与える成果
をすぐに得られるものではありません。また得られた知見をどのように農産物の生産/
加工現場で活かしていくかを、産学連携を中心に考えていくことが肝要かと思えます。

しずだい産学連携メールマガジンVol112

皆様もよくご存じのように、静岡には全国に誇れる豊かな農産物があります。静岡県は茶の生産量が全国一位であり、全国生産量の30%以上を占めています。またワサビ（農業産出額 全国1位）、ミカン（同3位）、イチゴ（同4位）、メロン（同4位）なども静岡県を代表する農業品種です。近年、これら農業品種は“味”だけでなく、その“香り”が高品質化への課題であると言われていています。香気成分は、揮発性が高く、徐々に飛散していきます（一般的に香りが“飛ぶ”や“抜ける”と言われます）。そのため、香気成分をどのように植物に貯蔵させるのかが重要な観点になります。幸いにも飲料会社や香料会社の協力を得ながら、香気成分および香気成分を安定的に貯蔵する配糖体に注目し、植物が「いつ」「どこで」「どのように」香気配糖体を生合成しているかを生化学、分析化学、分子生物学の研究手法を駆使してこれまで進めてきました。その過程で茶の香りを貯蔵する分子メカニズムを明らかにすることができました。農産物に関する分子レベルでの研究成果を事業化・製品化することは大変難しいものではありませんが、基盤的研究を推し進めることで、産学連携ネットワークにおいて農産物の高品質化に貢献していきたいと考えています。

今後も皆様のより一層のご協力ご支援を賜りたいと思います。

<< 編集後記 >>

去る3月16日（木）に、地域イノベーション・エコシステム形成プログラム特別講演会「ACTPHAST: Photonics Innovation support to boost the competitiveness of SMEs」が、静岡大学浜松キャンパスS-Port 3階大会議室で開催されました。講演者は、光技術による産業育成の新しいリーダーであるHugo Thienpont先生（ACTPHASTプロジェクト・コーディネーター、兼ブリュッセル・フォトニクス（B-PHOT）研究ディレクター、兼ブリュッセル自由大学 イノベーション・産業政策担当副学長）です。

欧州では、光技術を計り知れない経済的可能性を持った“Key Enabling Technology”としています。そして、“ACTPHAST (Access CenTer for PHotonics innovAtion Solutions and Technology support)”は、欧州の中小企業に光技術による技術革新ソリューションと技術サポートを提供しています。EUが大学や研究機関に資金提供し、それらの欧州有数の光技術研究の専門知識と最先端の設備の利用を提供することにより、企業のイノベーション能力をサポートし、光による新しい事業展開と雇用創出を迅速に進めています。

講演では、欧州企業（特に中小企業で100%補助金が支給される）による世界的な光技術によるイノベーションをサポートする、ワンストップショップのソリューションであるACTPHASTの取組みについて丁寧な説明がなされました。地域の産学連携の活動をより大きくするためのヒントとなり、地域の産学官金の連携をさらに深めることにつながる有意義な講演でした。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) まで
お願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

